



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 ユニチカ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3103 URL <https://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上埜 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大西 正哲

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	54,828	9.4	2,798	2.4	1,610	25.0	3,731	
2020年3月期第2四半期	60,486	4.6	2,866	35.0	2,148	49.5	1,383	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 4,114百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 1,263百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	61.93	29.48
2020年3月期第2四半期	26.78	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	191,825	42,726	20.5
2020年3月期	193,726	38,933	18.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 39,285百万円 2020年3月期 35,481百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	8.0	4,400	19.5	2,700	14.4	3,800		60.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社コソフ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	57,752,343 株	2020年3月期	57,752,343 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	94,671 株	2020年3月期	94,343 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	57,657,898 株	2020年3月期2Q	57,658,458 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明内容の入手方法について)

当社は、2020年11月25日(水)に証券アナリスト及び機関投資家向け説明会を電話会議にて開催する予定です。  
この説明会で使用する四半期決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	12,000.00	12,000.00
B種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	23,740.00	23,740.00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. 補足資料 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自動車など幅広い業種において生産や販売が急減し、加えて、インバウンド需要の消滅、自粛ムードを背景とした需要減少、また、雇用・所得環境の悪化など、マイナス局面となりました。世界経済も同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通せず、経済活動の停滞の長期化が懸念されるなど、後退局面となりました。

また、当社が、愛知県豊橋市（以下「豊橋市」）から1951年に譲り受けた工場用地を第三者に売却したことは、用地を譲り受けた際の契約に違反するとして、豊橋市住民が豊橋市長に対し、当社に対して損害賠償金6,300百万円及び遅延損害金の支払いを請求するよう求めている訴訟（当社は補助参加人として参加）につきましては、第2審でその一部（2,094百万円及び遅延損害金）を認める判決があり、当社らは上告及び上告受理申立てを行っていましたが、2020年7月21日、最高裁判所において、上告等を棄却し、上告審として受理しない旨の決定がなされ、同年8月末に当社は豊橋市に2,609百万円を支払いました。

このような状況の下、当社グループは、本年5月に公表しました新中期経営計画「G-STEP30 1st（ジーステップ・サーティ ～ファースト）」に掲げる成長ステージに向けた基盤強化を最優先とした基本方針である、強固な事業ポートフォリオの構築、グローバル化の推進、社内風土・意識改革の実現を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54,828百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。営業利益は2,798百万円（同2.4%減）となり、経常利益は1,610百万円（同25.0%減）、また、2019年1月8日に発生しました当社宇治事業所の火災事故に係る受取保険金について、3,398百万円を特別利益に計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,731百万円（前年同四半期は1,383百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載しております。

#### 【高分子事業】

高分子事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により、自動車関連用途などの販売が影響を受けました。

フィルム事業では、包装分野は、外出自粛、在宅勤務、休校などによる「巣ごもり需要」の影響により、食品や液体洗剤の詰め替えなどの用途は一時的に需要が増えましたが、土産菓子用途などの販売は低調でした。また、バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」などの高付加価値品は国内外で堅調でした。工業分野は、情報端末機器用途などの販売が減少し低調に推移しましたが、シリコンフリー離型ポリエステルフィルム「ユニピール」などの高付加価値品の販売は堅調でした。この結果、事業全体で減収減益となりました。

樹脂事業では、ナイロン樹脂は、自動車の生産台数減少の影響を大きく受け、加えて流通在庫過多による販売回復の遅れがあり、販売が苦戦しました。また、ポリアリレート樹脂「Uポリマー」は、情報端末機器用途や事務機器用途に加え、海外販売も苦戦しました。その他の機能樹脂の各素材も、自動車用途や生活用品用途で販売が減少しました。この結果、事業全体で減収減益となりました。

以上の結果、高分子事業の売上高は20,193百万円（前年同四半期比12.9%減）、営業利益は2,400百万円（同23.3%減）となりました。

#### 【機能資材事業】

機能資材事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により、医療用ガウンや衛生材向けの販売は伸長しましたが、自動車、建築土木などを中心に多くの用途での販売が影響を受けました。

活性炭繊維事業では、自動車用途が減少したことに加え、海外販売も減少し、浄水器用途は、住宅設備関連の販売が減少しました。

ガラス繊維事業では、産業資材分野は、工事延期等により建築土木用途のテント、シート等の販売が減少し、環境関連用途の販売も低調でした。電子材料分野のICクロスは、情報端末機器用途は伸び悩みましたが、テレワークの増加によりパソコンや半導体用途は堅調に推移し、超薄物や低熱膨張タイプなどの高付加価値品の販売が好調でした。

ガラスビーズ事業では、工業用途は自動車や機械部品関連の需要減少の影響を受け苦戦し、反射材用途及び道路用途も低調に推移しました。

不織布事業では、спанボンド不織布は、国内外において建築、自動車などの各用途が低調でした。生活資材用途は医療用ガウン向けなどで伸長し、好調に推移しました。спанレース不織布は、医療用ガウンや除菌シートなどの用途が伸長し、スキンケア用途などの減少分をカバーしました。

産業繊維事業では、短繊維は、一部の衛生材用途は好調でしたが、ポリエステル高強力糸は、建築土木用途で、工事延期等の影響を受け販売が減少し、また、自動車、生活資材などの各用途も低調に推移しました。

以上の結果、機能資材事業の売上高は14,546百万円（同12.8%減）、営業利益は302百万円（前年同四半期は35百万円の損失）となりました。

#### 【繊維事業】

衣料繊維事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主力のユニフォーム分野を始めレディス分野など全般的に厳しい状況で推移しましたが、医療用ガウン及び防護服用用途の販売が伸長し、収益を下支えしました。海外向けデニム生地の販売は低調でした。

以上の結果、繊維事業の売上高は20,073百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は165百万円（前年同四半期は79百万円の損失）となりました。

#### 【その他】

その他の事業につきましては、売上高は14百万円（前年同四半期比88.6%減）、営業損失は33百万円（前年同四半期は144百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,900百万円減少し、191,825百万円となりました。これは、主として当社宇治事業所の火災事故に係る保険金の受取により現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ5,693百万円減少し、149,099百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金の減少や訴訟損失引当金を取り崩したしたことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ3,792百万円増加し、42,726百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少や訴訟に対する賠償金等の支払がありました。売上債権の減少や宇治事業所の火災事故に係る保険金の受取などにより、7,979百万円の資金の増加（前年同四半期比73.7%増）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う支出などにより、3,297百万円の資金の減少（前年同四半期は2,987百万円の資金の減少）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより、1,681百万円の資金の減少（前年同四半期は2,079百万円の資金の減少）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2,829百万円増加し、21,023百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績に加え、第3四半期以降もナイロンやポリエステルの原料価格が安定することが見込まれることを考慮し、2020年10月21日に発表した通期の連結業績予想を下記のとおり修正します。

#### 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 110,000	百万円 4,200	百万円 2,500	百万円 3,100	円 銭 48.19
今回修正予想 (B)	110,000	4,400	2,700	3,800	60.33
増減額 (B-A)	—	200	200	700	
増減率 (%)	—	4.8	8.0	22.6	
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	119,537	5,467	3,153	△2,158	△43.01

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,860	21,482
受取手形及び売掛金	30,953	26,844
たな卸資産	29,498	28,862
その他	2,961	2,530
貸倒引当金	△48	△56
流動資産合計	82,225	79,661
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	21,543	20,998
土地	65,191	65,045
その他(純額)	18,711	19,479
有形固定資産合計	105,447	105,523
無形固定資産		
その他	1,756	1,849
無形固定資産合計	1,756	1,849
投資その他の資産		
その他	4,380	4,851
貸倒引当金	△84	△60
投資その他の資産合計	4,296	4,790
固定資産合計	111,500	112,164
資産合計	193,726	191,825

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,922	12,195
短期借入金	2,288	2,383
1年内返済予定の長期借入金	2,675	2,656
未払法人税等	284	568
賞与引当金	1,710	1,704
製品改修引当金	42	42
その他	9,313	9,971
流動負債合計	31,237	29,522
固定負債		
長期借入金	94,631	93,273
訴訟損失引当金	2,566	—
退職給付に係る負債	14,333	14,517
その他	12,024	11,785
固定負債合計	123,554	119,576
負債合計	154,792	149,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	13,218	13,218
利益剰余金	21,559	24,970
自己株式	△56	△57
株主資本合計	34,821	38,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	409
繰延ヘッジ損益	△11	△16
土地再評価差額金	6,412	6,412
為替換算調整勘定	△3,521	△3,379
退職給付に係る調整累計額	△2,581	△2,374
その他の包括利益累計額合計	660	1,053
非支配株主持分	3,451	3,441
純資産合計	38,933	42,726
負債純資産合計	193,726	191,825



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	60,486	54,828
売上原価	46,727	41,587
売上総利益	13,759	13,241
販売費及び一般管理費	10,892	10,443
営業利益	2,866	2,798
営業外収益		
受取利息	61	21
受取配当金	46	49
持分法による投資利益	4	—
受取賃貸料	63	41
その他	164	221
営業外収益合計	340	334
営業外費用		
支払利息	599	584
持分法による投資損失	—	24
為替差損	250	726
その他	208	186
営業外費用合計	1,058	1,522
経常利益	2,148	1,610
特別利益		
固定資産売却益	74	135
投資有価証券売却益	0	—
受取保険金	—	3,398
特別利益合計	74	3,534
特別損失		
固定資産処分損	646	691
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	44	26
事業構造改善費用	23	184
訴訟損失	—	70
訴訟損失引当金繰入額	2,500	—
特別損失合計	3,213	976
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△990	4,169
法人税、住民税及び事業税	371	499
法人税等調整額	38	△61
法人税等合計	410	437
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,400	3,731
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,383	3,731

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,400	3,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	48
繰延ヘッジ損益	△31	△4
為替換算調整勘定	△59	132
退職給付に係る調整額	194	207
その他の包括利益合計	136	383
四半期包括利益	△1,263	4,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,229	4,124
非支配株主に係る四半期包括利益	△34	△10

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△990	4,169
減価償却費	2,548	2,412
事業構造改善費用	23	184
訴訟損失	—	70
訴訟損失引当金繰入額	2,500	—
受取保険金	—	△3,398
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	645	400
製品改修引当金の増減額 (△は減少)	△28	—
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△60	△2
支払利息	599	584
固定資産処分損益 (△は益)	646	691
固定資産売却損益 (△は益)	△74	△135
投資有価証券評価損益 (△は益)	44	26
売上債権の増減額 (△は増加)	5,654	3,957
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△887	526
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,623	△2,668
その他	△877	435
小計	5,101	7,239
利息及び配当金の受取額	108	71
利息の支払額	△596	△560
法人税等の支払額	△490	△199
保険金の受取額	470	4,064
訴訟関連損失の支払額	—	△2,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,593	7,979
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△206	198
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の売却による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△3,056	△3,108
有形固定資産の売却による収入	501	165
有形固定資産の除却による支出	—	△433
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	197
その他	△222	△311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,987	△3,297
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△188	117
長期借入れによる収入	—	40
長期借入金の返済による支出	△1,492	△1,335
配当金の支払額	△321	△321
その他	△76	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,079	△1,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	△171
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△553	2,829
現金及び現金同等物の期首残高	22,122	18,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,569	21,023

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難なことから、当社グループは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

当該見積りに用いた仮定において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、この事象は不確実性が高く、その影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(訴訟について)

当社が、愛知県豊橋市（以下「豊橋市」）から1951年に譲り受けた工場用地を第三者に売却したことは、用地を譲り受けた際の契約に違反するとして、豊橋市住民が豊橋市長に対し、当社に対して損害賠償金の支払等を請求するよう求めている訴訟（当社は補助参加人として参加）につきまして、最高裁判所第三小法廷決定により、名古屋高等裁判所の判決が確定しました。当判決に従い、2,609百万円の損害賠償金及び遅延損害金を支払いました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,182	16,688	20,487	60,359	127	60,486	—	60,486
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,826	1,875	151	5,852	18	5,871	△5,871	—
計	27,009	18,564	20,638	66,212	145	66,357	△5,871	60,486
セグメント利益又は損失 (△)	3,130	△35	△79	3,015	△144	2,871	△5	2,866

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,193	14,546	20,073	54,814	14	54,828	—	54,828
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,747	2,378	136	6,263	—	6,263	△6,263	—
計	23,941	16,925	20,210	61,077	14	61,091	△6,263	54,828
セグメント利益又は損失 (△)	2,400	302	165	2,867	△33	2,834	△35	2,798

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新中期経営計画推進に向けて組織運営体制を変更し、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、報告セグメントを従来の「高分子事業」、「機能材事業」、「繊維事業」から、「高分子事業」、「機能資材事業」、「繊維事業」の区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 補足資料

## ①業績及び2021年3月期業績予想(連結)

(百万円)

			売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
連 結	2019/3	年 間	129,098	8,144	7,093	5,232
		第2Q	60,486	2,866	2,148	△ 1,383
	2020/3	年 間	119,537	5,467	3,153	△ 2,158
		第2Q	54,828	2,798	1,610	3,731
	前年比較	年間(予想)	110,000	4,400	2,700	3,800
		第2Q	△ 5,657	△ 68	△ 537	5,115
	年 間	△ 9,537	△ 1,067	△ 453	5,958	

## ②セグメント情報(連結)

(百万円)

			高分子	機能資材	織 維	その他	調整額	連 結
前年実績	2019/9 (実績)	外部売上高	23,182	16,688	20,487	127	—	60,486
		構成比(%)	38.3	27.6	33.9	0.2	—	100.0
		営業利益	3,130	△ 35	△ 79	△ 144	△ 5	2,866
		構成比(%)	109.2	△ 1.2	△ 2.8	△ 5.0	△ 0.2	100.0
当期実績	2020/9 (実績)	外部売上高	20,193	14,546	20,073	14	—	54,828
		構成比(%)	36.8	26.5	36.6	0.0	—	100.0
		営業利益	2,400	302	165	△ 33	△ 35	2,798
		構成比(%)	85.8	10.8	5.9	△ 1.2	△ 1.3	100.0
前年同期比較		外部売上高	△ 2,988	△ 2,142	△ 413	△ 112	—	△ 5,657
		増減率(%)	△ 12.9	△ 12.8	△ 2.0	△ 88.6	—	△ 9.4
		営業利益	△ 730	337	244	110	△ 30	△ 68
		増減率(%)	△ 23.3	—	—	—	—	△ 2.4

## ③設備投資実施額・減価償却費(有形固定資産)・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数(連結)

(百万円、人)

		設備投資 実施額	減 価 償却費	研 究 開発費	有利子 負債(期末)	金 融 収 支	正従業員数 (人)
2019/3	年 間	6,074	4,481	3,474	102,603	△ 1,066	3,497
2019/9	第2Q	3,154	2,268	1,831	100,922	△ 490	3,477
2020/3	年 間	9,316	4,765	3,624	99,595	△ 1,014	3,438
2020/9	第2Q	3,033	2,179	1,832	98,313	△ 513	3,435

## ④キャッシュ・フロー(連結)

(百万円)

		営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物の 期 末 残 高
2019/3	年 間	8,985	△ 6,440	△ 6,519	22,122
2019/9	第2Q	4,593	△ 2,987	△ 2,079	21,569
2020/3	年 間	9,797	△ 10,192	△ 3,482	18,194
2020/9	第2Q	7,979	△ 3,297	△ 1,681	21,023